

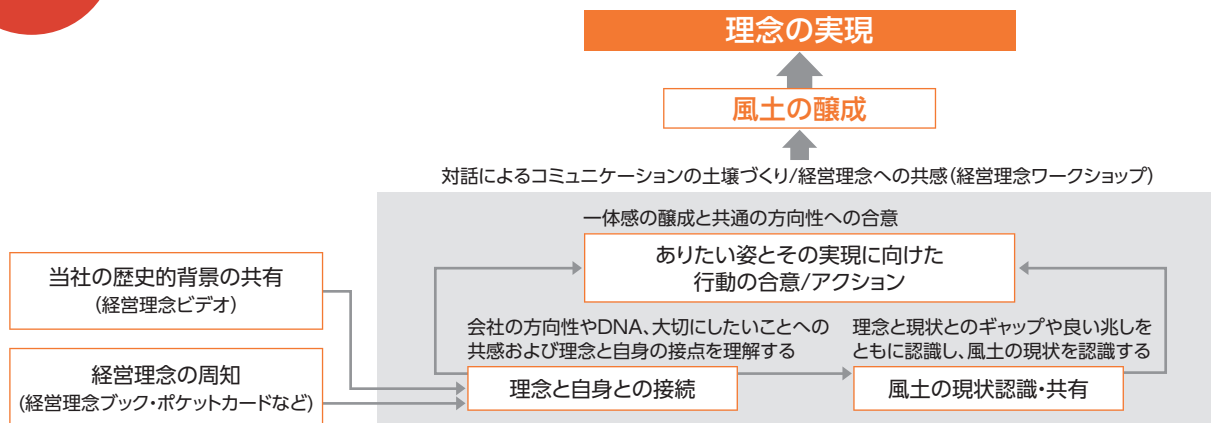
社員一人ひとりが社会とつながる

当社グループが持つ経営理念を社員一人ひとりと共有し、
経営との信頼関係を築きながら、活性化した企業風土の醸成を目指しています。
社会への貢献が実感できる職場環境づくりのため、意識改革を進めています。

経営理念浸透のイメージ



わたしたちは、塗料とコーティング技術の持つ力を高めることで、
生活に彩と快適さ、安心を提供します。



■経営理念ツールの制作・配布

新経営理念の周知のため、ポスターや携帯用ポケットカードのほか、経営理念再構築に至った経緯や経営層からのメッセージを記載した「経営理念ブック」を全社員に配布しました。

また、経営理念に対する理解を深めるため、経営理念の根幹を成す創業当時から引き継がれてきた信念や価値観について、当社の歴史とともに学べる「経営理念ビデオ」を制作し、社内研修やワークショップで活用しています。2019年度は、これらの外国語版も制作し、海外拠点へ展開していく予定です。



経営理念ポケットカード



経営理念ビデオ



経営理念ブック

■経営理念ワークショップ

当社では、経営理念と自身との繋がりを実感し、経営理念の実現に向けた課題や目指すべき方向について語り合う「経営理念ワークショップ」により、対話によるコミュニケーションの深化と経営理念に対するさらなる理解と共感の向上を図っています。

■経営層ワークショップ

経営層対象の経営理念ワークショップを2018年8月に実施しました。当社の執行役員が参加し、グループの「ありたい姿」についての対話や、経営層として取り組むべき課題の共有を通じ、経営理念の浸透や風土改革に対して決意を新たにすることができました。



経営層ワークショップ

■ワークショップの展開経営

経営層ワークショップに続いて、グループの部門長層を対象としたワークショップを2018年12月から翌1月にかけて、東西各地区で計4回実施しました。ミドルマネジメントの立場から、経営理念の実現に向けて部門長自身の取るべき行動について活発な意見が交わされました。

2019年度は、各職場にも理念ワークショップを順次展開しています。また、新入社員をはじめ各階層の集合研修でも、ワークショップを取り入れ、対話を通じた経営理念への理解と共感を広げています。



部門長ワークショップ

従業員の一体感醸成の取り組み

女子卓球部の創設



2014年、当社は持株会社体制へ移行し2015年、事業会社を再編、Wuthelamとの協業関係を深化させ、アジアで展開するNipsea事業の大部分を連結対象に取り込みました。これらにより、グループの事業規模が大きく拡大するとともに、組織体制も大きく変わりました。

グループ従業員の8割以上が海外という、異なる文化を持つ人々が集う当社で、「一体感」が醸成され、求心力を持つ存在」を検討するなか、世界中で国籍、性別、年齢隔てなく楽しめるスポーツの実業団チームを持つ企業にヒアリングを行い、総合的に判断し競技を選定しました。

卓球は私たちの事業の主戦場であるアジア、特に中国での人気が絶大であること、実業団リーグへの門戸が開かれて参加しやすいこと、野球などの団体競技に比べ大人数のチーム編成や大規模な設備が不要なことから、「一体感のシンボル」として女子卓球部を設立することを決定しました。

創設当初は、日本卓球リーグ実業団連盟2部参入を目指していましたが、Tリーグ発足のタイミングとも重なったこともあり、競技レベル・注目度がより高いTリーグへ参入することを目指してチームを構築しました。Tリーグへの参戦を通じて、当社グループの「一体感」を醸成できるチームを目指しています。

また、地域住民の方々を対象とした「卓球教室」を開催するなど卓球を通じた地域・社会貢献の取り組みも進めています。



Tリーグに参戦(2018年は3位で終了)

女子卓球部の活動

2016.9	「卓球プロジェクト」創設、設備改修・採用活動開始
2016.12	日本卓球協会理事会にて「リーグ構想」承認
2017.1	監督・三原 孝博 就任/チームスタッフ・選手 採用活動本格化
2017.4	CSR推進部 女子卓球部創設
2017.9	Tリーグチームの一般公募開始
2017.12	Tリーグ入会申請
2018.1	2018-2019シーズンチーム体制発表 監督・コーチ2名・選手6名(日本4名、シンガポール1名、香港1名)決定
2018.2	Tリーグ参入発表:日本ペイントマレッツ承認
2018.10	Tリーグ開幕/日本ペイントマレッツ開幕戦
2018.11	大学・高校から特別指定選手新加入2名
2019.2	中国選手新加入
2019.2	2018-2019シーズンレギュラーシーズン終了 日本ペイントマレッツ 3位で終了

Tリーグ参戦を通じて

試合観戦や応援等を通じ、従来にない熱意を感じる場面や、一体感を感じられる場面が見られました。社員から自発的に結成された応援団は、拠点・部門・年齢・性別を超えて参加する新たなコミュニティとなりました。全国の試合会場では拠点が別れた社員同士が集い、新しいコミュニケーションが生まれました。さらにホームゲームでは、R&D部門が、新開発技術を楽しく伝える会場ブース内でのPRやバトン部OGのハーフタイムパフォーマンスなど、「One Team」の活動にも繋がりました。

また、地域密着型リーグへの参戦により、「日本ペイントマレッツ」を通じて、地元・大阪を中心に地域との新たなコミュニティの輪が広がっています。チーム・当社自身だけではなく、地域社会と共生し、みなさまに誇れるチームへなれるよう活動を行っていきます。



加藤選手 一日警察署長



会社協同での卓球教室